

第1回 長安ロダム環境モニタリング委員会 議事概要

1. 日 時：平成23年3月9日（水）（15：00～17：00）
2. 場 所：ホテル千秋閣6F孔雀の間（旧自治会館）
3. 出席委員：木下 覺（徳島県植物研究会 会長）
小林 實（河川・溪流環境アドバイザー）
佐藤 陽一（徳島県立博物館 自然課長）
浜野 龍夫（徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部
創生科学研究部門 教授）
森本 康滋（徳島県自然保護協会 会長）
山田 量崇（徳島県立博物館 学芸員）
山中 亮一（徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部
エコシステムデザイン部門 講師）
湯城 豊勝（阿南工業高等専門学校 教授）
4. 配付資料：
 - 資料1 議事次第
 - 資料2 委員会設立趣旨
 - 資料3 委員名簿、配席図
 - 資料4 規約（案）
 - 資料5 長安ロダム改造事業に係るモニタリング計画書(案)[概要版]
 - 資料6 長安ロダム改造事業に係る平成23年度モニタリング実施計画書(案)[概要版]
 - 別添資料1 長安ロダム改造事業に係るモニタリング計画書（案）
 - 別添資料2 長安ロダム改造事業に係る平成23年度モニタリング実施計画書（案）
 - その他 参考 傍聴される方へのお願い
参考 取材についてのお願い
5. 議 事：
 - (1) 設立趣旨・規約(案)説明、委員長選出
 - (2) 長安ロダム改造事業の概要について
 - (3) 環境影響検討結果の概要について
 - (4) モニタリング基本方針（案）及びモニタリング基本計画（案）について
 - (5) 平成23年度モニタリング実施計画（案）について
6. 議事要旨：

(1) 設立趣旨・規約(案)説明、委員長選出

①設立趣旨および規約(案)の説明を行った。

規約案は了承され、規約は平成 23 年 3 月 9 日より施行となった。

②委員長選出が行われ、湯城豊勝委員が委員長に就任した。

(2) 長安ロダム改造事業の概要および環境影響検討結果の概要について

①特に意見はなし

(3) モニタリング基本方針(案)及びモニタリング基本計画(案)について

1) 順応的管理

①今回の想定外の事態への対応を踏まえた順応的管理の考え方を導入したやり方は、よく考えられていて上手くできているシステムなので、このやり方で事業とモニタリングを適切に進めてもらいたい。

②順応的管理の際の対応の基準値についても順応的に変えていく事も検討してほしい。

2) 水質

③普段の巡視で見るときには水色計を使うやり方がよいのではないか。

④水質は異常があったときに計測する必要があるが、その際には時系列でデータを把握し、原因を速やかに特定できる調査が必要である。

3) 動植物

⑤猛禽類の調査はよく実施されている。調査計画もこれで問題ないと考えている。オオタカについては、今年度の工事の際も騒音は基準値以下であり影響が無かったことを確認している。サシバとミゾゴイについても今後十分配慮していただきたい。

⑥ラン科の 2 種は、移植しても成功する見込みは難しい。移植先や移植方法については十分に調査・研究をして実施することが必要である。

⑦魚類の計画は、定性調査を主体としており、計画としてはよいと考えている。本調査に入る前に、予備調査を行ってデータシートを作成し、実際に計画の調査方法・評価方法で適切なデータが得られて評価が可能かを確認して、適切な方法を決めた上で実施した方がよい。

⑧底生動物調査も定量調査より定性調査の方がよいのではないか。早瀬のみで定量調査を実施するよりも広く浅く定性的に実施した方がよい。

(4) 平成 23 年度モニタリング実施計画(案)について

①特に意見はなし

(5) その他

①改造事業や環境配慮に関して、広報を積極的にやってもらいたい。そういうためにも、環境調査データを公開するなど上手く活用することを考えてほしい。

以上の議事を踏まえ、モニタリング計画書および平成 23 年度モニタリング実施計画書は了承された。

(以上)